

2026年6月25日

第83期定時株主総会 事前質問へのご回答および質疑応答概要

当社株主総会において、事前にいただいたご質問および当日のご質問に対する回答について、以下にご案内申し上げます。

1. 事前質問に対するご回答

Q 1	中東情勢の悪化が、事業や業績に与える影響はあるのか？
A 1	<p>当社製品の製造には直接的な影響はございません。</p> <p>原材料調達の影響は、主要原材料である無水フッ化水素酸には、硫酸が原料として使用されており、中東情勢の影響で硫酸の価格が高騰しています。そのことから、無水フッ化水素酸の価格も上昇しておりますが、必要量は調達・確保できています。</p> <p>また、原材料価格の上昇に際しては、販売価格への適切な反映に努めております。販売面への影響は、中東情勢による影響でユーザーの生産調整等が発生した場合、当社としては、出荷量の減少または出荷の延期などの影響を受ける可能性があります。しかし、現時点では当社業績に大きな影響を与えるような事象は確認されておりません。</p> <p>引き続き情報収集に努め、当社事業への影響を最小限に抑えられるよう、適切な対応を取ってまいります。</p>
Q 2	半導体市況はA I 向けを中心に回復傾向にありますが、御社の主力である、半導体関連製品の今後の需要見通しをどのように見えていますか。
A 2	<p>A I 関連は堅調に推移していますが、スマートフォンなどの電子機器や自動車向けなどA I 関連以外の分野は回復に時間を要しており、2026年度においても同様の市場環境が継続するものと見込んでいます。</p> <p>一方で、ユーザーでの工場の拡張など明るい話題もあり、当社においては海外向けを中心に出荷量が増加する見込みです。</p> <p>今後も需要動向を見極め、着実なシェア拡大と業績向上に努めてまいります。</p>

Q 3	サイバー攻撃を受けた場合、事業の継続は可能なのか？
A 3	サイバー攻撃は、事業継続に関わる重要なリスクの一つとして認識しており、有事に備え、データ保全やシステム復旧を含めた事業継続体制を構築しております。発生時の被害を最小限に抑え早期復旧ができるよう、継続的に対策の強化に取り組んでおります。

Q 4	中国からの原料調達先における、現在の状況を教えてほしい。また、原料調達の多角化については進んでいるのか？
A 4	<p>主要原材料である無水フッ化水素酸は、日本からの地理的要因や品質の観点から、中国からの調達が大半を占めております。</p> <p>現在、中国との関係性の影響もあり、港における保管費用など調達に伴うコストが上昇する状況も生じております。</p> <p>以前から原料調達先の多角化に向けて取り組んでおり、足元では中国以外からの調達量が増加しています。これらは、中国品よりもコスト面では不利となる場合もありますが、当社としては地政学リスク等を考慮し、BCP対策も踏まえた調達体制の整備が重要であると認識しております。</p> <p>事業環境の変化に応じて、最適な調達体制の構築を進めるとともに、ユーザーへの安定供給責任を果たし、収益性との両立を図ってまいります。</p>

2. 当日の質疑応答

会場でのご質問はございませんでした。

以上